

災害時のペット対策を推進！

東名高架下に安全な歩道設置！

横浜市会議員 かのう重雄



かのう重雄

公明党横浜市議員団 瀬谷事務所
瀬谷区三ツ境 125-25 ☎365-2054 ☎365-1690

災害時、ペットの避難場所とは？

市民の生活様式や価値観が変化する中、犬や猫などの動物を「家族の一員」として共に暮らす人が増えていきます。もし震災などが発生した場合、直後にはそうした人たちがペットを連れ

て地域防災拠点へ避難することが想定されます。しかし、地域防災拠点は多くの被災者が避難生活を送る場であり、中には動物を苦手とする人やアレルギーなどの理由で動物と一緒にいられない人もいます。このことを考慮し、各地域防災拠点の実情に応じたペ

ット対策が必要です。重要性を指摘

重要性を指摘

私は、平成18年10月の決算特別委員会で「災害時のペット対策」の重要性を指摘。「ペットの救援センター設置」と、上瀬谷通信施設などの広大な敷地を有する米軍施設の利用も提案しました。

さらに平成20年12月、基地対策特別委員会による「政府要望」の折、米軍側への協力を外務省などに要請。また、平成21年1月の委員会で「災害時のペッ

ト対策のマニュアル化」と、米軍側との災害協力を要望しました。

「災害時のペット対策」冊子が完成

冊子が完成

今年5月、大規模災害発生時の取組みとして「災害時のペット対策」の冊子が発行されました。これは、一時飼育場所の想定などを盛り込んだ「地域防災拠点でのペットとの同行避難対応ガイドライン」、動物の応急処置や保護施設としての「動物救援センター」、市獣医師会会員の動物病院が一時保護、治療などの支援を行う「動物救病院」等の内容が記載されています。



冊子「災害時のペット対策」

ペットと共生できる社会をつくりたい

日本では年間約28万匹もの犬・猫が殺処分されています。一方、熊本市の熊本

市動物愛護センターでは「殺処分される動物を限りなくゼロにする」との目標で取組み成果をあげています。私は「小さな命に、やさしい社会へ」を提案し、「殺処分ゼロ」、ペットと共生できる環境づくりを目指します。

東名高架下に新たな歩道(トンネル)を設置

平成17年、瀬谷区目黒町

にお住まいの皆様から市立上瀬谷小学校通学路の安全対策について相談を頂きました。

特に、東名高速道路下の瀬谷柏尾道路の拡幅と歩道の確保、道路形状の見直し、



工事が進む東名下の歩行者用トンネル

新たにトンネルを掘り歩行者専用道路の確保などを瀬谷土木事務所、瀬谷警察へ相談・要望致しました。

平成18年には瀬谷北部町内連合会からも同様の相談を頂き、市道路局、市教育委員会、神奈川県警察本部などへも要望書を提出しました。

その後も引き続き、住民や町内会などの積極的な陳情の成果で現在、東名高速道路下に安全な歩道を確保するための新たなトンネル工事が急ピッチで進められています。